資料-１

# 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
# 江の川（下流）流域の減災に係る取組について

## 令和７年度　第１回　協議会

令和７年６月１７日（火）

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会

（江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、
松江地方気象台、国土交通省浜田河川国道事務所）

# 会議の目的

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会　規約

（協議会の実施事項）

第４条　協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

一　洪水の浸水想定等の水害リスク情報並びに、各構成員がそれぞれ又は連携して実施している現状の減災に係る取組状況等の共有。

二　円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除を実現するために、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた「地域の取組方針」の作成・共有。

三　「地域の取組方針」に基づく対策の実施状況の確認。

四　その他、大規模氾濫に関する減災対策に関して必要な事項を実施。

# これまでの経緯

- 平成27年9月関東・東北豪雨災害を契機に、「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える必要があるとして平成27年12月に「水防災意識社会再構築ビジョン」が策定され、減災対策協議会が設置された。
- 協議会で各機関の5か年の取組方針を作成し、毎年、進捗状況をフォローアップしてきた。その間、緊急行動計画(平成29年6月)や緊急行動計画の改定(平成31年1月)などを踏まえて、必要に応じて取組方針の見直しも行い、令和2年度には当初の目標期間とした概ね5年が経過した。
- 多くの取組項目が完了しているが、緊急行動計画の改定の項目のうち、一部、未完了の項目や継続して実施すべき避難訓練等の項目が存在した。
- これまでの取組状況や水防災に係る近年の動向を踏まえて、概ね5年（令和3～7年度）に実施する取組を設定した（令和3年5月に改訂）。

**平成27年9月　関東・東北豪雨災害（鬼怒川の洪水氾濫）**

**平成27年12月 社会資本整備審議会答申**
「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある。

**平成27年12月　水防災意識社会再構築ビジョン**

平成28年7月4日　第1回　減災対策協議会　『江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会』設立

目標：山間狭窄部に点在する小集落などの地形特性を踏まえ、各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることができる「江の川下流水害に強い地域づくり」を目指す。

取組方針：
1．住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組
2．氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動
3．浸水を一日も早く解消するための排水対策

平成28年10月11日　第2回　減災対策協議会　『江の川(下流)流域の減災に係る取組方針（案）』策定

平成29年 5月24日　第3回　減災対策協議会　規約改定※1、平成28年度のフォローアップ　等

※1：邑南町の担当部局変更（危機管理課長⇒総務課長）

**緊急行動計画（平成29年6月20日）**平成28年8月、台風10号等の一連の台風による豪雨災害（中小河川の氾濫）を受けて、とりまとめられた委員会の答申（H29.1）を踏まえ、水防法改正に基づく協議会の設置、水害対応タイムラインの作成促進、要配慮者利用施設における避難体制構築への支援、水害危険性の周知促進、防災教育の促進等の32項目をとりまとめた。※H29.12.1　中小河川等治水対策プロジェクトを設立し33項目に追加修正

平成30年 5月31日　第4回　減災対策協議会　減災対策協議会を法定化・緊急行動計画への対応（地域の取組方針の見直し）等

平成30年11月 5日　第5回　減災対策協議会　平成30年7月豪雨の振り返り（フォローアップ含む）　等

**緊急行動計画の改定（平成31年1月29日）**平成30年7月豪雨を受けて、とりまとめられた委員会の答申（H30.12）を踏まえ、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに充実し加速するため、多くの主体の事前の備えと連携の強化の観点等より、2020年（令和2年）度を目途に取り組むべき緊急行動計画を54項目に拡充。

令和元年 5月31日　第6回　減災対策協議会　平成30年度フォローアップ・緊急行動計画への対応※2　等

※2：優先すべき検討課題を５項目設定

令和2年 2月13日　第7回　減災対策協議会　令和元年度フォローアップ、規約改定※3　等

※3：ダム部会の追加

令和2年 5月29日　第8回　減災対策協議会　令和元年度フォローアップ、令和2年度の予定、治水協定、流域治水プロジェクト　等

**令和2年7月豪雨　江の川（下流）では、氾濫発生情報が発表され、浸水面積：265ha、浸水戸数：104戸の浸水被害が発生**

令和2年10月22日・令和2年12月22日　令和2年度出水期の振り返り意見交換会

令和3年 2月10日　第9回　減災対策協議会　令和2年度フォローアップ　等

令和3年 5月24日　第10回　減災対策協議会　**今後5か年の取組方針（案）**、令和3年度実施方針、フォローアップ　等

令和4年 3月22日　第11回　減災対策協議会　令和3年出水期後の振り返りについて、フォローアップ　等

令和4年 5月24日　第12回　減災対策協議会　令和4年度の予定　等

令和5年 3月書面　第13回　減災対策協議会　令和4年度フォローアップ　等

令和5年 6月書面　第14回　減災対策協議会　令和5年度の予定　等

令和6年 3月22日　第15回　減災対策協議会　令和5年度フォローアップ　等

令和6年 5月29日　第16回　減災対策協議会　令和6年度の予定　等

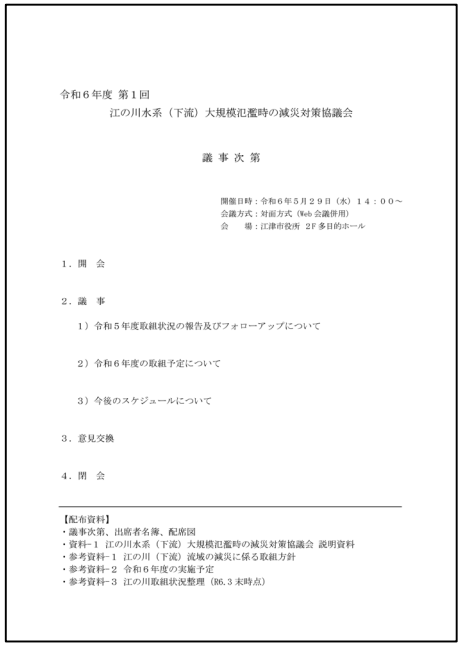
令和7年 2月25日　第17回　減災対策協議会　令和6年度フォローアップ　等

概ね5年で実施

# 令和６年度 減災対策協議会の開催状況

【第1回協議会】
開催日：令和６年５月２９日（水）
開催方式：対面方式（Web併用）
開催場所：江津市役所２階 多目的ホール
参加機関：松江地方気象台、島根県（防災部、土木部）、江津市、川本町、美郷町、邑南町、浜田河川国道事務所
会議概要：江の川水系（下流）の減災に係る取組方針に基づく関係機関の令和５年度の実施状況及び令和６年度の実施予定について報告・共有しました。

【第2回協議会】
開催日　：令和７年２月２５日（火）
開催方式：対面方式（Web併用）
開催場所：川本町役場２階 大会議室
参加機関：松江地方気象台、島根県（防災部、土木部）、江津市、川本町、美郷町、邑南町、浜田河川国道事務所
会議概要：江の川水系（下流）の減災に係る取組方針に基づく関係機関の令和６年度の実施状況ついて報告しました。
また、現行の取組方針が令和７年度に完了するため、未実施の取組項目に関して令和７年度中の実施を依頼しました。
さらに、被災経験のある金藤純子様を招き、住民目線から見た避難情報の課題についてご講演いただきました。



令和６年度 第１回
江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会

議 事 次 第

開催日時：令和６年５月２９日（水）１４：００～
会議方式：対面方式（Web 会議併用）
会　　場：江津市役所　２Ｆ多目的ホール

１．開　会

２．議　事

１）令和５年度取組状況の報告及びフォローアップについて

２）令和６年度の取組予定について

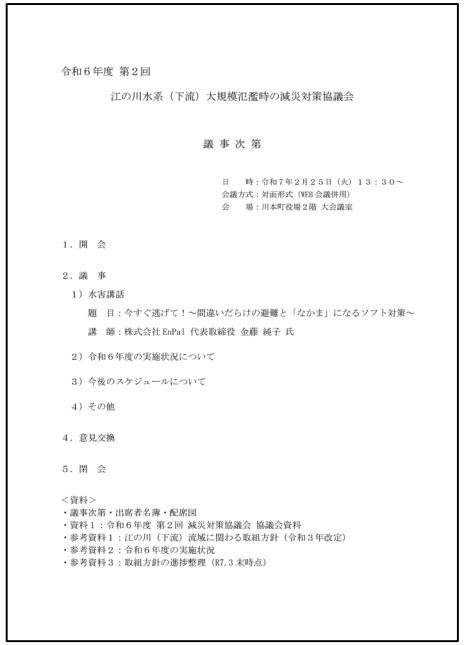
３）今後のスケジュールについて

３．意見交換

４．閉　会

【配布資料】
・議事次第、出席者名簿、配席図
・資料－１　江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会 説明資料
・参考資料－１ 江の川（下流）流域の減災に係る取組方針
・参考資料－２ 令和６年度の実施予定
・参考資料－３ 江の川取組状況整理（R6.３末時点）

第1回協議会 議事次第



令和６年度 第２回
江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会

議 事 次 第

日　　時：令和７年２月２５日（火）１３：３０～
会議方式：対面形式（WEB 会議併用）
会　　場：川本町役場２階 大会議室

１．開　会

２．議　事
１）水害講話
題　目：今すぐ逃げて！～間違いだらけの避難と「なかま」になるソフト対策～
講　師：株式会社 EnPal 代表取締役 金藤 純子 氏

２）令和６年度の実施状況について

３）今後のスケジュールについて

４）その他

４．意見交換

５．閉　会

＜資料＞
・議事次第・出席者名簿・配席図
・資料１：令和６年度 第２回 減災対策協議会 協議会資料
・参考資料１：江の川（下流）流域に関わる取組方針（令和３年改定）
・参考資料２：令和６年度の実施状況
・参考資料３：取組方針の進捗整理（R7.３末時点）

第2回協議会 議事次第

第2回協議会の様子

（参考）令和６年度の取組状況の報告及びフォローアップについて

（１）令和７年度の取組予定について

（２）今後のスケジュールについて

（３）情報提供

# （参考）令和６年度の取組状況の報告及びフォローアップについて

# 令和６年度の取組状況

○令和６年度の取組予定に対する各機関の主な取組状況について報告します。
○各機関の具体的な取組状況については、ｐ－１０以降に示します。

**①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組**

| 主な取組項目 | 取組機関 | 令和６年度の実施状況 |
|---|---|---|
| **■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備** | | |
| **・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備** | 国交省 | ・【国交省】危機管理型水位計1か所の不具合を解消 |
| **・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上** | 国交省・<br>松江地方気象台 | ・【気象台】大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。①府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始（令和6年5月28日～）、②府県/地方気象情報の文書構造（文書の構成順、項目の名称や書式、量的予想に係る表現等を全国で統一）の変更（令和6年6月13日～）<br>・【国交省】①指定河川洪水予報（国河川）の氾濫危険情報を予測でも発表（令和4年6月13日から継続）、②水位表示板の設計を実施、R7年度に現地設置予定 |
| **■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等** | | |
| **・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)** | 流域市町 | ・【江津市】桜江地区における地区防災計画作成が完了した。江津地区にも地区防災計画のひな形を送るなど作成を促した。<br>・【川本町】避難場所及び避難経路の見直し<br>・【美郷町】デジタルハザードマップのデータはその都度に更新 |
| **・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供** | 流域市町 | ・【江津市】計画に基づく訓練の支援を行った。新たに浸水想定区域に入った施設に対し、計画の作成支援を行った。<br>・【川本町】計画更新作業のサポートを実施<br>・【美郷町】想定区域内の対象施設においては計画策定済みで、今後は訓練に係る支援等を行う<br>・【気象台】大田市介護サービス事業者協議会からの依頼を受け、2024/10/16にケアマネージャーを対象に出前講座を実施<br>・【国交省】当減災対策協議会（第1回）幹事会において、要配慮者利用施設の避難確保計画作成・活用に関する情報提供を実施 |
| **・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討** | 流域市町 | ・【江津市】地区防災計画作成の過程で一部で協議を行った<br>・【川本町】発令基準を検討 |
| **・江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施** | 協議会全体 | ・【川本町】商工会等と協議<br>・【邑南町】BCPについて継続協議<br>・【国交省】①㈱誠和商会様を対象に水害BCP策定支援を実施、②水害BCPの作成を希望する企業を募集するためのチラシを作成、当事務所Webサイトへ掲載予定、③川本警察署員を対象に水害タイムライン等に関する講習会を実施（6/26） |
| **・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまるごとまちごとハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施** | 流域市町 | ・【江津市】海抜表示板や避難所看板などの維持を行った<br>・【川本町】現地表示実施の検討<br>・【邑南町】ハザードマップを更新し、HPへ掲載 |

# 令和６年度の取組状況

○令和６年度の取組予定に対する各機関の主な取組状況について報告します。
○各機関の具体的な取組状況については、ｐ－１０以降に示します。

**①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組**

| 主な取組項目 | 取組機関 | 令和６年度の実施状況 |
|---|---|---|
| **■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成** | | |
| **・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し** | 協議会全体 | ・【国交省】①江の川（下流）水害タイムラインを4回立ち上げ、②出水期前に水害タイムラインの運用方法等の確認、出水期後に水害タイムラインの改善点等に関するアンケートを行い検討会を実施 |
| **■ 情報伝達、避難計画等に関する事項** | | |
| **・洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）** | 協議会全体 | ・【島根県】八戸ダム及び県管理河川おける情報提供を実施<br>・【気象台】指定河川洪水予報発表等におけるホットライン実施<br>・【国交省】①11月2日の大雨の際に、江津市・川本町・美郷町に川平・谷住郷・川本・都賀水位観測所の水位について、ホットラインを実施、②ホットラインでの伝達事項について、流域自治体と協議・調整を実施 |
| **・ダム放流情報を活用した避難体系の確立** | 流域市町・国交省 | ・【国交省】江の川水系ダム洪水調節協議会における連絡体制の確認 |
| **■ 防災教育や防災知識の普及** | | |
| **・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用** | 協議会全体 | ・【江津市】出前講座や広報誌等で周知<br>・【川本町】町民への周知<br>・【美郷町】広報誌等により周知<br>・【邑南町】町アプリ等で周知<br>・【島根県】水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信<br>・【気象台】（令和6年6月26日～7月30日）①島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ（水害対策編）」を、web会議により計5回開催し、地域防災力の向上を支援した。②島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「7outube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説。また、早期注意情報で［中］又は［高］が発表された際は、臨時に配信した。<br>・【国交省】①江の川だより第23号において、マイ・タイムラインや川の防災情報の周知（QRコードの活用）、②Ｘを活用した防災情報等の発信 |
| **・小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実** | 協議会全体 | ・【江津市】実施<br>・【川本町】中学校で、防災授業を実施<br>・【美郷町】邑智中学校では授業時間に、大和小学校（1/24予定）では参観日に実施<br>・【邑南町】町内中学校の職場体験時や、出前講座で防災学習を実施<br>・【島根県】桜江中学校、日貫小学校及び中央高校において出前講座を実施<br>・【国交省】①防災出前講座を実施（9/18 郷田小学校）、②水生生物調査でマイ・タイムライン等に関する資料を配布（9/5 口羽小、9/6 郷田小、9/3 大和中、9/4 川本中、9/19 桜江中、10/9 邑智中） |

# 令和６年度の取組状況

○令和６年度の取組予定に対する各機関の主な取組状況について報告します。
○各機関の具体的な取組状況については、ｐ－１０以降に示します。

## ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

| 主な取組項目 | 取組機関 | 令和６年度の実施状況 |
|---|---|---|
| ■ 防災教育や防災知識の普及 | | |
| ・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施 | 協議会全体 | •【江津市】ツールを活用した防災教育を実施<br>•【川本町】6月第1日曜日、第2日曜日に全町希望自治会を対象とした、避難訓練を実施<br>•【美郷町】防災専門の有識者を講師に、防災士や住民を対象として実施<br>•【邑南町】町内自治会等で出前講座を随時実施<br>•【島根県】石見養護学校職員に対して出前講座を実施<br>•【国交省】①みすみフェスティバル2024にて、昭和58年7月豪雨に関するパネル展示を実施（11/9）、②江津市12地区の住民を対象に防災出前講座を実施（12/15）、③江の川だより（第22号～第26号）を発刊 |
| ・住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進 | 流域市町・島根県・国交省 | •【江津市】住民対象のマイ・タイムライン研修を行った<br>•【川本町】まちづくり意見交換会や、自治会長会議でマイタイムラインを説明。個別自主防災組織でも実施。<br>•【美郷町】地区防災計画の作成に合わせ、町内２地区（浜原・長藤）で実施中、今後も未作成地区において実施<br>•【島根県】考える県政によりマイ・タイムラインの周知を実施（6/15）<br>•【国交省】①江津市12地区の住民を対象にマイ・タイムライン講習会を実施（12/15）、②マイ・タイムライン講習会の実施を希望する住民を募集するためのチラシを作成、当事務所Webサイトへ掲載し周知を実施 |

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

| 主な取組項目 | 取組機関 | 令和６年度の実施状況 |
|---|---|---|
| ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化 | | |
| ・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保 | 流域市町 | •【江津市】連絡体制の確認を行った<br>•【川本町】消防団により随時実施<br>•【美郷町】都度、情報伝達（発信）を実施<br>•【邑南町】消防団で随時実施 |
| ・江の川（下流）の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施 | 流域市町・国交省 | •【江津市】水防団により実施<br>•【川本町】浜田河川国道事務所と実施<br>•【美郷町】消防（水防）団が単独で実施<br>•【邑南町】消防団で随時実施<br>•【国交省】江津市、川本町と合同で重要水防箇所の現地確認を実施（6/10）、美郷町、邑南町と合同で重要水防箇所の現地確認を実施（6/12） |

# 令和６年度の取組状況

○令和６年度の取組予定に対する各機関の主な取組状況について報告します。
○各機関の具体的な取組状況については、ｐ－１０以降に示します。

### ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

| 主な取組項目 | 取組機関 | 令和６年度の実施状況 |
|---|---|---|
| **■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化** | | |
| **・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施** | 協議会全体 | ・【江津市】水防団員が排水ポンプ等の操作訓練を行った<br>・【川本町】各分団の訓練で実施<br>・【邑南町】11月に実施<br>・【国交省】国交省職員と防災エキスパートの共同で、梅雨時期前（4/17）に堤防点検を実施 |
| **・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認** | 流域市町・島根県・国交省 | ・【江津市】確認を実施<br>・【川本町】水防計画による確認<br>・【美郷町】情報共有を実施<br>・【邑南町】情報共有を実施<br>・【島根県】水防計画による情報共有を実施<br>・【国交省】①水防連絡会、洪水予報連絡会、災害情報協議会を開催、②川本町川本（谷地内）において、仮締切堤防の設置訓練を実施 |
| **・市町庁舎の水害時における対応について業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実** | 江津市・川本町・邑南町 | ・【江津市】改訂作業中<br>・【川本町】必要に応じて業務継続計画を見直す |
| **・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施** | 流域市町・島根県・国交省 | ・【江津市】樋門操作員研修会を実施した<br>・【川本町】樋門等操作員研修で実施<br>・【美郷町】説明会を5月に実施し、訓練は必要に応じて実施<br>・【邑南町】8月に実施<br>・【国交省】各市町と樋門操作に関する委託契約を締結、樋門操作説明会を、5/9 川本町・美郷町、5/16 江津市にて実施 |

### ③浸水を一日も早く解消するための排水対策

| 主な取組項目 | 取組機関 | 令和６年度の実施状況 |
|---|---|---|
| **■ 排水作業準備計画（案）の作成及び排水訓練の実施** | | |
| **・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施** | 流域市町・国交省 | ・【邑南町】消防団による訓練を実施<br>・【島根県】排水ポンプ車による排水訓練を実施<br>・【国交省】国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車・照明車の合同操作訓練を実施（江津市長田、川本町因原） |
| **・排水設備の耐水性の強化** | 流域市町・島根県・国交省 | ・【川本町】内水排除施設の拡張中（因原）<br>・【美郷町】排水施設・設備の点検を実施<br>・【邑南町】点検を実施 |

# 国土交通省
# 浜田河川国道事務所

# マイ・タイムラインの普及促進の講習会の開催

浜田河川国道事務所

| 項目 | 住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 江の川（下流）流域の自治体等を対象にマイ・タイムライン講習会を実施 |
| | 令和６年実施状況 | 江津市１２地区の住民を対象にマイ・タイムライン講習会を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所・江津市 | |

【実施概要】

○令和６年１２月１５日（日）に、江津市１２地区の住民（約４０名）を対象に、マイ・タイムライン講習会を実施しました。
○講習会では、国交省職員から江の川での過去の水害やマイ・タイムラインの概要、自宅の浸水リスク、避難に必要な情報等について説明した後に、参加者のみなさまには実際にマイ・タイムラインを作成していただきました。

マイ・タイムライン講習会の様子

**参加者からの質問・意見**

- 避難について隣近所と話し合い、地域で広めていきたい。
- 講習会の内容を踏まえて、逃げ遅れゼロにつなげたい。
- シールなので、高齢者としては作業しやすい。
- 地域でマイタイムラインを作りたい。

# マイ・タイムラインの普及促進の講習会の開催

浜田河川国道事務所

| 項目 | 住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 江の川（下流）流域の自治体等を対象にマイ・タイムライン講習会を実施 |
| | 令和６年実施状況 | マイ・タイムライン講習会の実施を希望する住民を募集するためのチラシを作成 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○浜田河川国道事務所では、流域自治体における水害時の「逃げ遅れゼロ」を目標に、要望のあった地区や団体を対象にマイ・タイムライン講習会を実施しています。
○今年度、より多くの地区や団体から要望を受けられるように、マイ・タイムライン講習会の募集チラシを作成しました。
○募集チラシは、浜田河川国道事務所のWEBサイトに掲載しています。

募集チラシ（表面）

募集チラシ（裏面）

掲載場所（WEBサイト）

# 小学校等を対象とした防災教育の普及

浜田河川国道事務所

| 項目 | 小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 江の川（下流）流域の小中学校を対象に防災教育を実施 |
| | 令和６年実施状況 | 郷田小学校の４年生（１１名）に防災出前講座を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

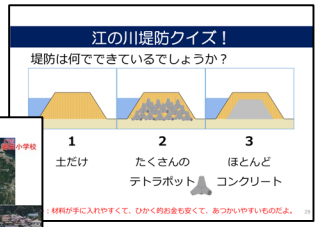
【実施概要】

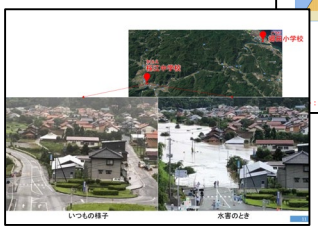
○令和６年９月１８日（水）に、江津市立郷田小学校の児童（１１名）の皆さんに、防災に関する出前講座を行いました。出前講座では、「過去の水害」「堤防の役割」「避難時の注意点」「避難準備・避難行動」などについて説明しました。
○また、出前講座の前後に防災意識レベルのアンケートを行い、出前講座の実施による防災意識レベルの変化について確認しました。
○要望があった沿川の小学校等を対象に、来年度以降も防災出前講座を順次実施します。

## 今年度の取組

出前講座（座学）教室で4年生を対象に実施

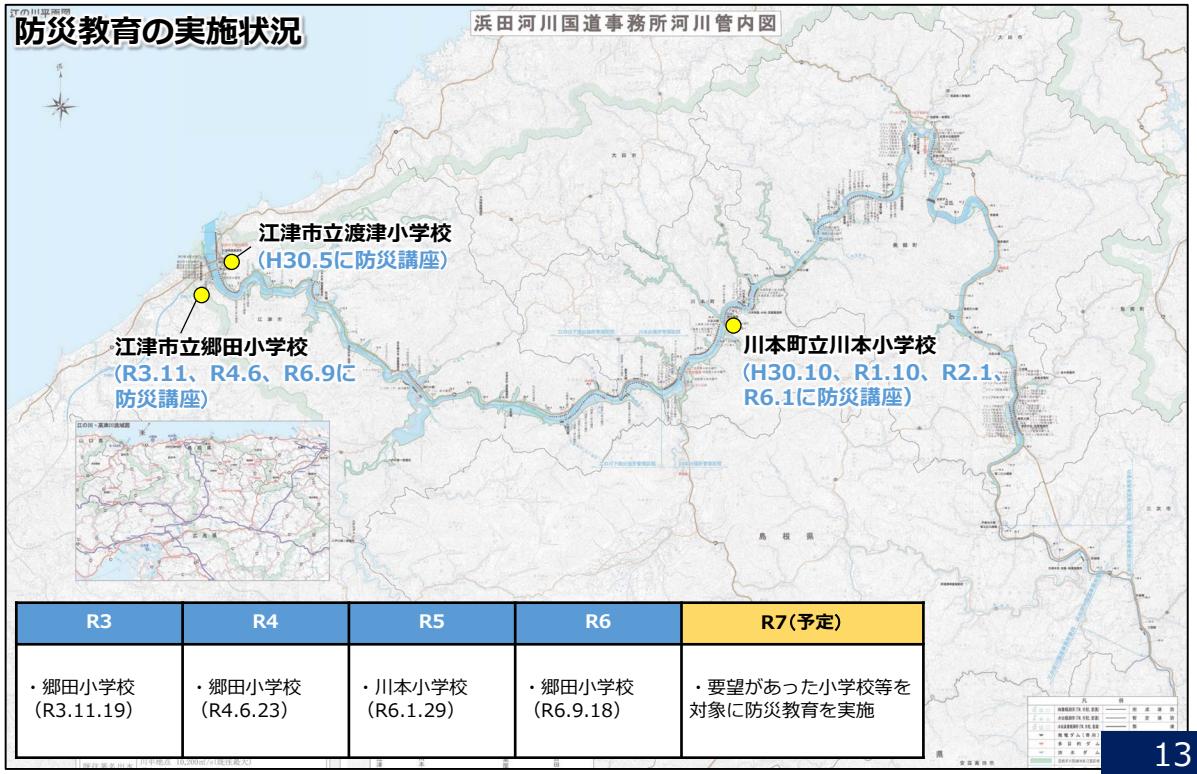
クイズも交えて説明




平常時と水害時を比較しながら過去の水害を紹介

## 来年度の取組予定




| R3 | R4 | R5 | R6 | R7（予定） |
|---|---|---|---|---|
| ・郷田小学校（R3.11.19） | ・郷田小学校（R4.6.23） | ・川本小学校（R6.1.29） | ・郷田小学校（R6.9.18） | ・要望があった小学校等を対象に防災教育を実施 |

# （参考）防災意識レベルとは

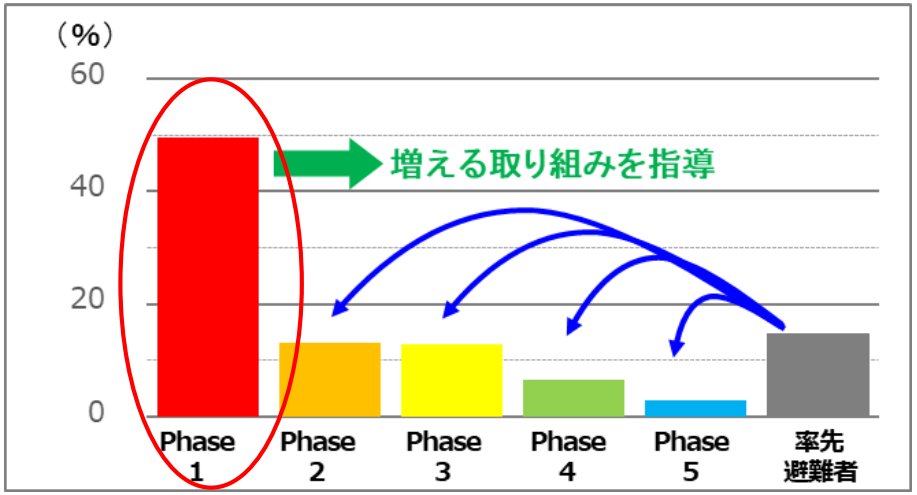


○避難指示が発表されても、実際に避難する人は少ないのは全国的な課題である。

○どのような取組をすれば、避難に繋がるのか。本間・片田ら（2008）※の研究では、住民の防災意識レベルは５つのフェイズに分類されると分析されており、フェイズ５に到達しない限り、避難行動には結びつかないとされている。

○河川が氾濫すると考えたことがない・どの程度自宅が浸水するか知らない・覚えていないなどフェイズ１～３に分類される人たちが多いのが現状である。よって、フェイズを１→５へ上げていく取組が重要となる。

防災意識レベルのフェイズ




防災意識レベルを向上させるイメージ

※本間・片田ら（2008）：住民の防災意識水準に応じた教育プログラム策定手法に関する研究

# （参考）防災意識レベルアンケートとは

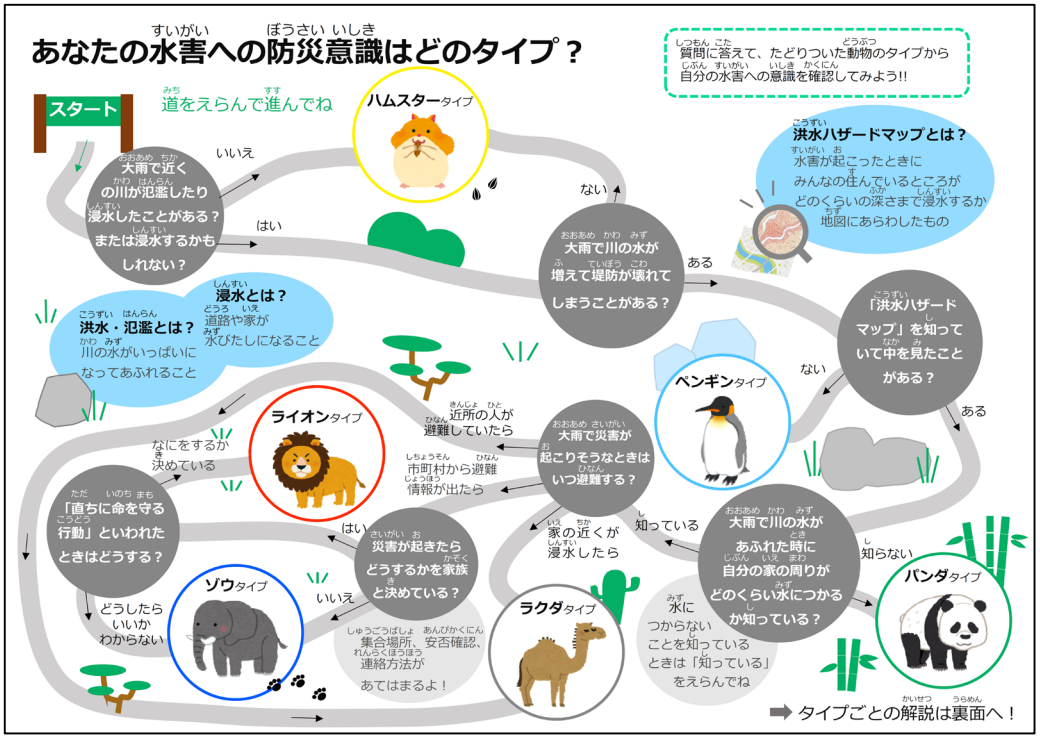
浜田河川国道事務所

○**防災意識レベルアンケート（以下、「防災アニマル診断」という。）とは、動物をモデルにいくつかの設問に回答することで回答者の防災意識レベルを定量化できるようにしたもの。**
➡防災意識レベルは、本間・片田ら（2008）※を参考にしており、各レベルに対応するようにアンケート内容を設定した。

○防災アニマル診断は、水害による「逃げ遅れゼロ」を目標としたとき、より効果的な出前講座を提供できるようにするため実施。
➡出前講座の前後でアンケートを行い、防災意識レベルが高い住民が増えれば適切な講座内容であったといえる。

○**今年度は、９月に実施した江津市立郷田小学校での出前講座において防災アニマル診断を実施。**
**➡出前講座前と比べて、出前講座後の方が防災意識レベルが高い児童が増加した（右下グラフ参照）。**

防災アニマル診断




幅広い年代の人に回答してもらいやすくするため防災意識レベルを動物で表現

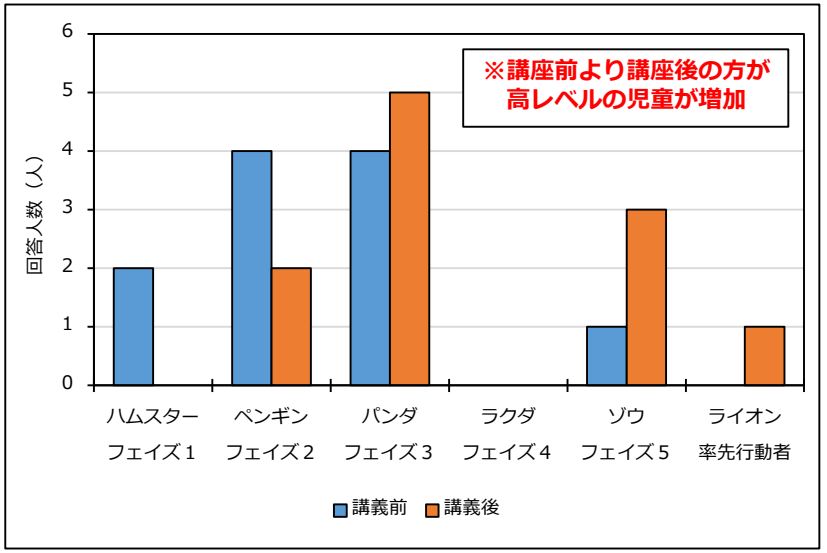
レベル（フェイズ）の分類

| | |
|---|---|
| 率先行動者（ライオン） | ：対処行動を実行する |
| フェイズ５（ゾウ） | ：対処行動を理解する |
| フェイズ４（ラクダ） | ：リスクを深く理解する |
| フェイズ３（パンダ） | ：リスクの存在に気付く |
| フェイズ２（ペンギン） | ：リスクの存在を知らない |
| フェイズ１（ハムスター） | ：リスクを考えたこともない |

レベル高

レベル低

郷田小学校での防災アニマル診断結果




※本間・片田ら（2008）：住民の防災意識水準に応じた教育プログラム策定手法に関する研究

# 小学校等を対象とした防災教育の普及

浜田河川国道事務所

| 項目 | 小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 江の川（下流）流域の小中学校を対象に防災教育を実施 |
| | 令和６年実施状況 | 水生生物調査でマイ・タイムライン等に関する資料を配布<br>（9/5 口羽小、9/6 郷田小、9/3 大和中、9/4 川本中、9/19 桜江中、10/9 邑智中） |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○江の川沿川の小中学校の児童・生徒（9/5 口羽小、9/6 郷田小、9/3 大和中、9/4 川本中、9/19 桜江中、10/9 邑智中）を対象に実施した水生生物調査時に、「過去の水害」「川の防災情報」「マイ・タイムライン」に関する説明を行いました。

配布資料

水生生物調査時での説明の様子

# 民間企業における事業継続計画検討支援

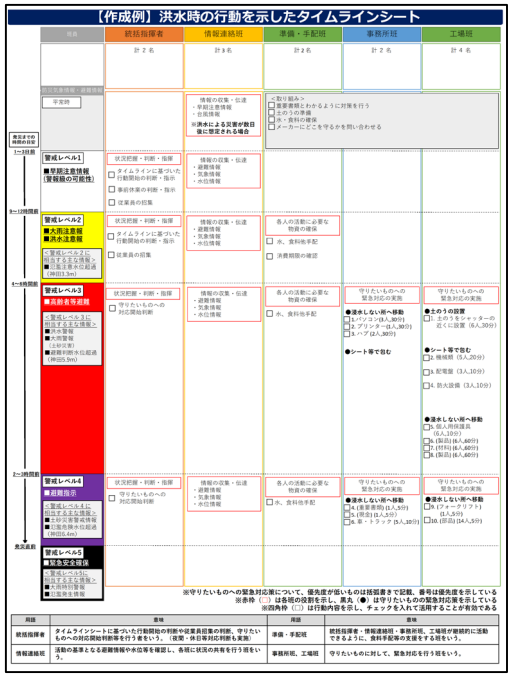
浜田河川国道事務所

| | | |
|---|---|---|
| 項目 | 江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施 | |
| 内容 | 令和６年当初計画 | 江の川（下流）流域の商工会や企業を対象とした講習会等の実施 |
| | 令和６年実施状況 | ㈱誠和商会様を対象に水害BCP策定支援を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

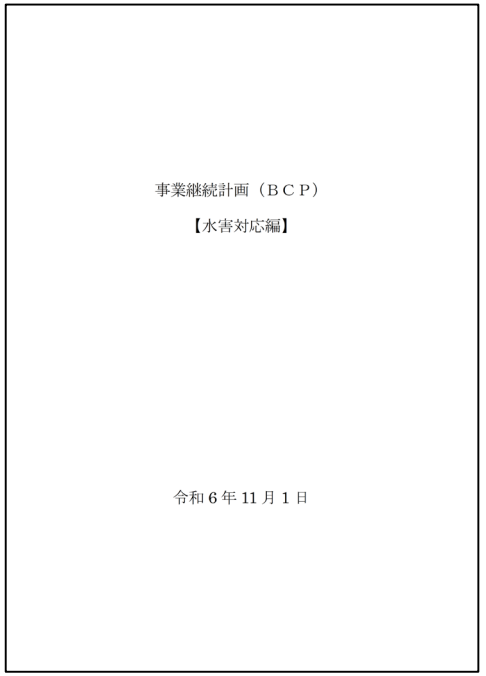
【実施概要】

○水害時に浸水するおそれのある企業の事業継続力向上を目的として、江津市に位置する１企業を対象に、水害BCP作成を支援するワークショップを３回（令和６年９月２５日（水）、１０月４日（金）、１１月１日（金））実施しました。
○ワークショップでは、第１回に「守りたいものと対応策」、第２回に「いつ対応策を行うのか」、第３回に「対応策を行う人数や班体制（タイムラインシート）」に関して話し合い、企業の水害BCPを作成しました。
○この企業での水害BCPの作成支援を踏まえて、江の川（下流）流域の企業が支援なく独自で水害BCPを策定できるように「BCP計画書の手引き（案）」を作成しました。

ワークショップの様子




出水時の行動を示したタイムラインシート
（BCP【水害対応編】の手引き（案）参考2-12を抜粋）


事業継続計画（ＢＣＰ）

【水害対応編】

令和６年 11 月 １日

# 民間企業における事業継続計画検討支援

浜田河川国道事務所

| | | |
|---|---|---|
| 項目 | 江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施 | |
| 内容 | 令和６年当初計画 | 江の川（下流）流域の商工会や企業を対象とした講習会等の実施 |
| | 令和６年実施状況 | 水害BCPの作成を希望する企業を募集するためのチラシを作成 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○浜田河川国道事務所では、流域内企業の水害による被害を最小限とし、水害からの早期復旧または事業継続ができるように、要望のあった企業を対象に水害BCPの策定支援を行っています。
○今年度、より多くの企業から支援要望を受けられるように、水害BCP策定支援の募集チラシを作成しました。
○募集チラシは、浜田河川国道事務所のWEBサイトに掲載予定です。

# 民間企業における事業継続計画検討支援

浜田河川国道事務所

| | | |
|---|---|---|
| 項目 | 江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施 | |
| 内容 | 令和６年当初計画 | 江の川（下流）流域の商工会や企業を対象とした講習会等の実施 |
| | 令和６年実施状況 | 川本警察署員を対象に水害タイムライン等に関する講習会を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○令和６年６月２６日（水）に、川本警察署の署員（約２５名）に江の川での治水事業や水害タイムラインの説明を行いました。
○また、署員は非常時に避難誘導や救助活動等により家族と離れて行動することになりますが、そのような状況下で職員の家族の安全確保を促すためにマイ・タイムラインについて紹介しました。

タイムラインレベルごとの行動項目の説明

マイ・タイムラインの紹介

講習会の様子

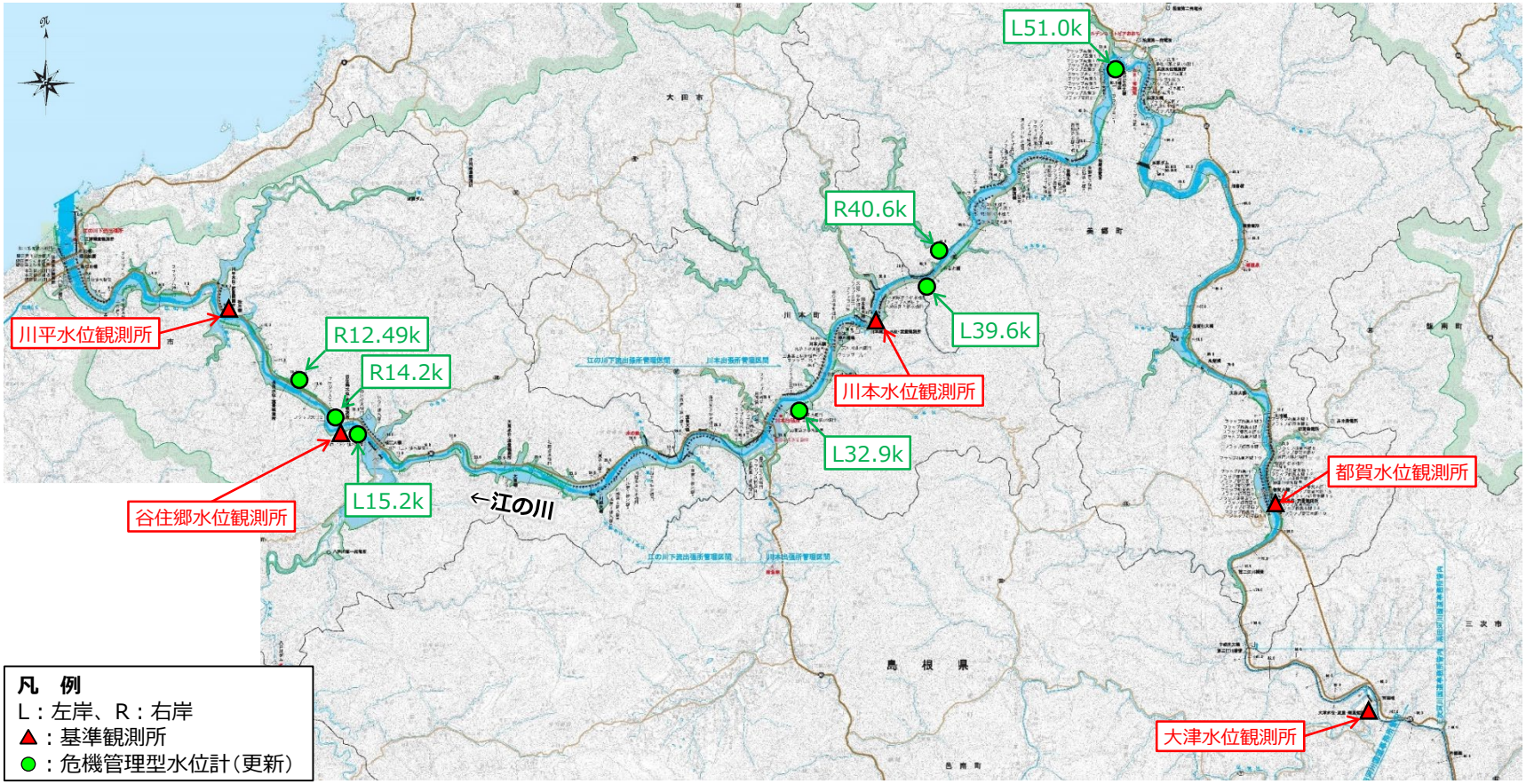
# 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備

浜田河川国道事務所

| 項目 | 洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置・更新 |
| | 令和６年実施状況 | 危機管理型水位計７か所を更新 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○出水時に孤立する可能性がある地区において、危機管理型水位計７か所を更新しました。




危機管理型水位計の更新平面図

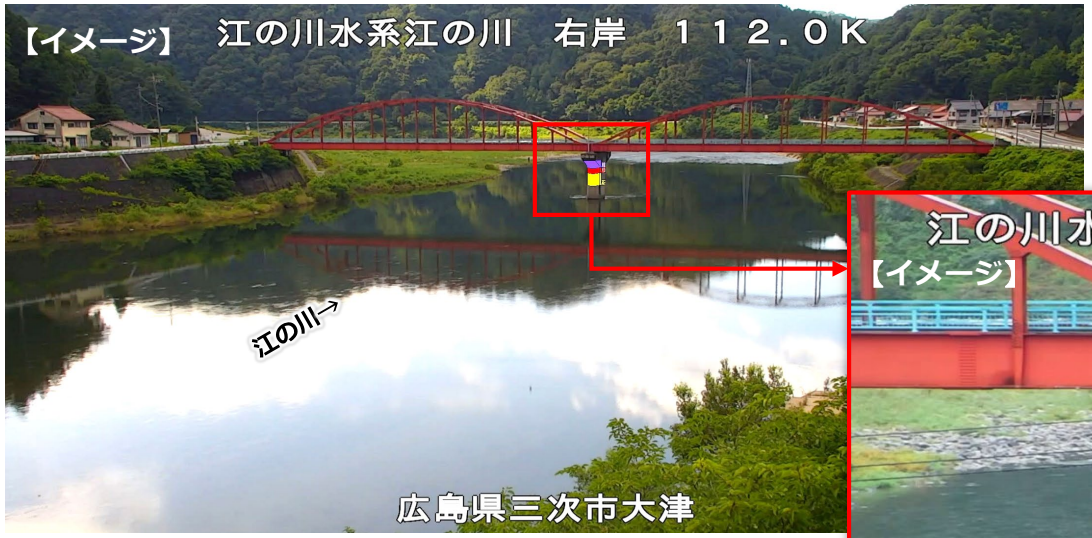
# 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備

浜田河川国道事務所

| 項目 | 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 橋脚や護岸に奨励色の水位表示板を更新・設置 |
| | 令和６年実施状況 | 水位表示板の設計を実施、Ｒ７年度に現地設置予定 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○河川監視カメラのライブ映像を用いて、出水時の切迫性のある情報を住民に提供するために、両国橋に水位表示板を設置予定。
○令和６年度は、水位表示板の設計を実施。令和７年度に両国橋の橋脚に水位表示板を設置予定。



# 災害情報等の発信・収集

浜田河川国道事務所

| 項目 | 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 水害リスクライン等の活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用 |
| | 令和６年実施状況 | 江の川だより第２３号において、避難行動の取組方法や防災情報を周知（QRコードの活用）<br>Ｘを活用した防災情報等の発信 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○江の川だより第２３号において、川の防災情報の紹介を行いました。
○浜田河川国道事務所の公式Xを運用し、事務所が管轄する河川や道路の情報発信・情報収集を行いました。

## 江の川だより（第２３号）

## 公式X

公式Xのアカウント

排水作業に関する
Xの投稿

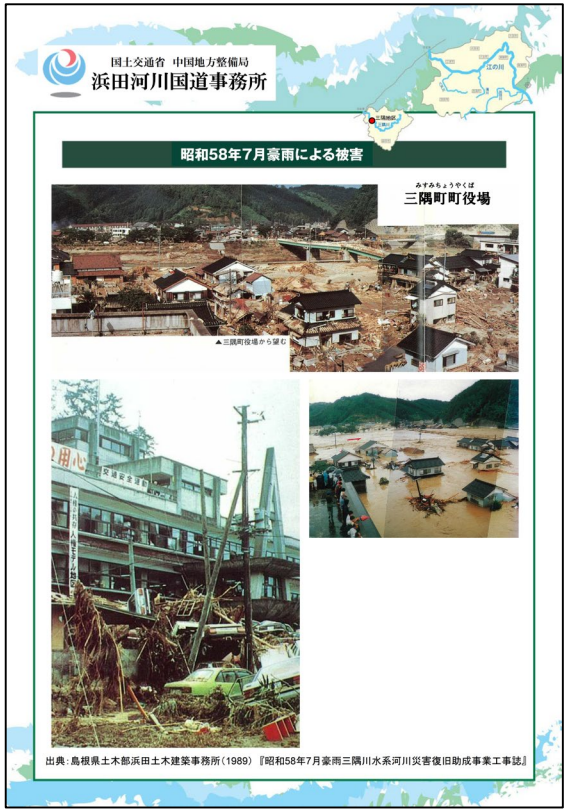
# 水害被害の伝承に向けた取り組み

浜田河川国道事務所

| | | |
|---|---|---|
| 項目 | 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施 | |
| 内容 | 令和６年当初計画 | 出前講座等において住民への説明を実施 |
| | 令和６年実施状況 | みすみフェスティバル２０２４にて、昭和５８年７月豪雨に関するパネル展示を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○令和６年１１月９日(土)に浜田市三隅町で開催されたみすみフェスティバル２０２４にて、過去に発生した水害被害の伝承を目的として、昭和５８年７月豪雨により発生した三隅町での被害に関するパネル展示を行いました。
○また、配布資料を用いて、川の防災情報やマイ・タイムラインに関する広報を実施しました。




展示パネル(抜粋)

配布資料

パネル展示の様子

# 「江の川だより」による広報

浜田河川国道事務所

| 項目 | 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 「江の川だより」による広報 |
| | 令和６年実施状況 | 江の川だより第２２号～第２６号を発刊 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

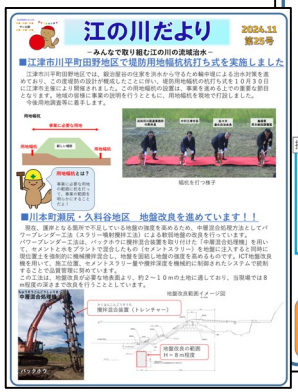
○江の川での改修事業や避難に役立つ情報を、地域の皆さんにご理解・ご協力を頂くため「江の川だより」を発刊しています。
○令和６年度は、江の川だより第２２号～第２６号をWEBサイト上で公開しました。
江の川だより：https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/suishin/gonokawadayori.html

## 第２３号

表面

裏面

## 第２５号




表面

裏面

# 樋門無動力化の推進

浜田河川国道事務所

| 項目 | 樋門の無動力化の推進 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 樋門無動力化の実施予定 |
| | 令和６年実施状況 | 久座仁排水樋門の無動力化を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○樋門操作員の負担軽減などを目的に、江の川（下流）の直轄区間に位置する樋門を対象に、樋門の無動力化を順次進めています。
○令和６年度は、邑智郡川本町久座仁地区の久座仁排水樋門の無動力化を実施しました。

久座仁排水樋門（無動力化前）

久座仁排水樋門（無動力化後）

# 重要水防箇所の合同確認

浜田河川国道事務所

| 項目 | 江の川（下流）の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 合同点検等を実施 |
| | 令和６年実施状況 | 江津市、川本町、美郷町、邑南町と合同で重要水防箇所の現地確認を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所・松江地方気象台・江津市・川本町・美郷町・邑南町 | |

【実施概要】

○ ６月１０日（月）及び１２日（水）に、浜田河川国道事務所・松江地方気象台・流域各市町の共同で出水期に向けた重要水防箇所の合同確認を行いました。また、現地確認に加えて過去の被害状況や近年の出水状況（H30.7、R2.7及びR3.8豪雨）について意見交換を行いました。（合同確認では、江津市で５箇所、川本町で２箇所、美郷町で６箇所、邑南町で２箇所を確認）

江津市（6/10）

川本町（6/10）

美郷町（6/12）

邑南町（6/12）

# 堤防点検の実施

浜田河川国道事務所

| | | |
|---|---|---|
| 項目 | 水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施 | |
| 内容 | 令和６年当初計画 | 国交省職員を講師とした講習会を実施 |
| | 令和６年実施状況 | 国交省職員と防災エキスパートの共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○令和６年４月１７日(水)に、令和５年度の堤防点検において変状が確認された箇所を国交省職員と防災エキスパートの共同でドローンも活用しつつ点検を行い、緊急的な補修等の必要性について検討しました。
○堤防点検の結果、緊急的な修繕が必要となる箇所は無く、確認された損傷等については引き続き経過観察を実施していきます。

護岸の打音検査

ドローンによる点検・巡視

# 仮締切堤防の設置訓練

浜田河川国道事務所

| 項目 | 備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認 |
| | 令和６年実施状況 | 川本町川本（谷地内）において、仮締切堤防の設置訓練を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○平成３０年７月豪雨、令和２年７月豪雨で浸水被害が発生した邑智郡川本町川本（谷地内）において、梅雨時期前の５月２４日（金）に、仮締切堤防として県道上に大型土のうを設置する訓練を行い、関係機関と作業手順の確認を行いました。

仮締切堤防の設置訓練の様子

# 排水樋門の操作訓練



| 項目 | 樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施 |
| | 令和６年実施状況 | 各市町と樋門操作に関する委託契約を締結、樋門操作説明会を江津市・川本町・美郷町にて実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所・江津市・川本町・美郷町 | |

【実施概要】

○今年度も江津市・川本町・美郷町と江の川（下流）直轄区間の樋門操作に関する操作委託契約を締結しました。
○令和６年５月９日（木）と１６日（木）に、樋門操作員を対象に樋門操作方法の習熟を目的とした操作説明会を開催しました。

江津市本所（5/16）

江津市桜江支所（5/16）

川本町（5/9）

美郷町（5/9）

# 災害対策用機械の操作訓練

浜田河川国道事務所

| 項目 | 排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和６年当初計画 | 排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し |
| | 令和６年実施状況 | 国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車・照明車の合同操作訓練を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○梅雨や台風などによる風水害に備え、５月２３日(木)に邑智郡川本町因原、５月２４日(金)に江津市渡津町長田において、排水ポンプ車と照明車の操作訓練を行いました。

排水ポンプ車の操作訓練の様子
（江の川下流管内）

照明車の操作訓練の様子
（川本管内）

# 自然災害伝承碑を活用した取組の推進

浜田河川国道事務所

○自然災害伝承碑とは、過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメントです。
○過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなどを地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指すもので浜田河川国道事務所管内の自然災害伝承碑を整理しました。
○具体的な場所は、下記のURLから確認可能です。
国土地理院：自然災害伝承碑、https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html

**益田川災害復旧竣工記念碑**
災害名：昭和58年7月豪雨
(1983年7月23日)

**家古屋川竣工記念碑**
災害名：昭和63年7月豪雨
(1988年7月15日)

**川平町 田の原地区 土地利用一体型水防災事業竣工記念碑**
災害名：洪水(1972年、1983年、1999年、2006年、2018年、2020年、2021年)

**復興感謝**
災害名：昭和47年7月豪雨
(1972年7月12日)

**今田井堰・耕地・水門復旧記念碑**
災害名：洪水
(1943年、1944年、1945年)

**不可遺忘之紀（いぼうすべからずのき）**
災害名：洪水
(1850年7月9日、13日)

**防災祈念碑**
災害名：平成25年7月豪雨
(2013年7月28日)

**三島堤防完成記念碑**
災害名：昭和47年7月豪雨
(1972年7月12日)

**大洪水碑**
災害名：昭和47年7月豪雨
(1972年7月12日)

浜田河川国道事務所管内
自然災害伝承碑マップ

設置数
江の川(下流) １１基
高津川(益田川含む) ６基

※令和６年度：追加なし
(江の川(下流)・高津川流域内)

# 松江地方気象台

# 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備

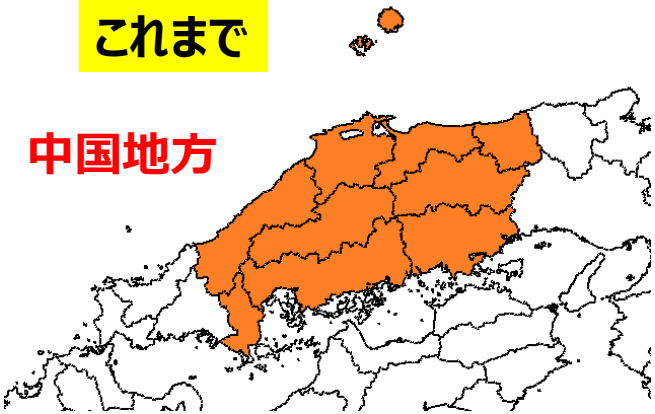


## ■府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始

【 令和６年から開始する府県単位での呼びかけ 】

**これまで**

**中国地方**

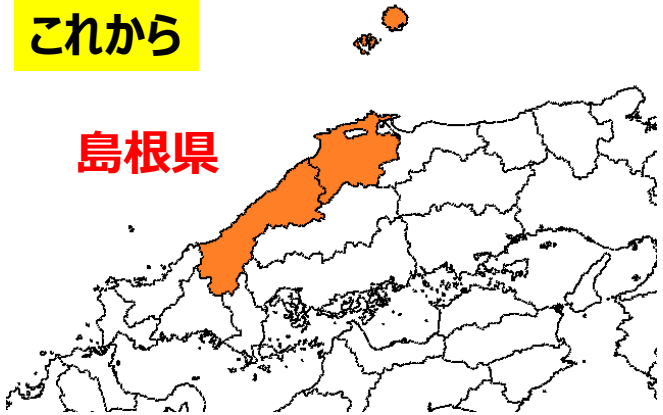


※呼びかけ対象地域のイメージ

**対象地域を絞り込んで発表**

**これから**

**島根県**



※呼びかけ対象地域のイメージ

### 地方気象情報

大雨に関する**中国地方**気象情報　第○号
○年○月○日○○時○○分　広島地方気象台発表

＜見出し＞
**中国地方では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。**

＜本文＞
…（中略）…

大雨に関する**島根県**気象情報　第○号
○年○月○日○○時○○分　広島地方気象台発表

＜見出し＞
**島根県では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。**

＜本文＞
…（中略）…

対象とならない 広島県、岡山県、鳥取県では、府県気象情報においての呼びかけをしない。

### 府県気象情報

大雨に関する**島根県**気象情報　第○号
○年○月○日○○時○○分　松江地方気象台発表

＜見出し＞
**中国地方では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。**

＜本文＞
…（中略）…

大雨に関する**島根県**気象情報　第○号
○年○月○日○○時○○分　松江地方気象台発表

＜見出し＞
**島根県では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。**

＜本文＞
…（中略）…

※北海道や沖縄県では、府県予報区単位で発表します。
※鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表します。
※発表する情報の電文フォーマットは変わりません。

# 防災教育や防災知識の普及



## ■地域防災支援の取組

【 令和6年度の取組 】

**平時**

・市町村等との「顔の見える関係」構築・深化
・災害リスクや情報利活用の研修・演習
・防災計画や避難情報の判断・伝達マニュアル等への助言
・関係機関等との連携した取組

**緊急時**

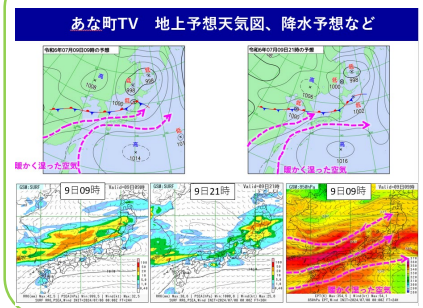
・記者会見による呼びかけ
・ホットラインによる首長への助言
・ＪＥＴＴ（気象庁防災対応支援チーム）の派遣

**災害後**

・自治体等と共同で「振り返り」を実施

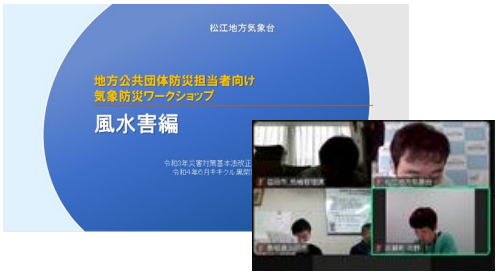
## 地域防災支援業務の強化

### YouTubeを用いた気象解説




警報級の大雨・大雪等になるおそれがある場合に、防災担当者を対象にYouTubeで気象解説を行っています（あなたの町の予報官TV）。いつ、どこで、どれほどの現象となる見込みなのかをなるべく詳細に説明します。

### 気象防災ワークショップの推進




【 Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、風水害編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和7年度も継続して実施していきます。

### 積極的にＪＥＴＴを派遣

【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和6年7月9日からの大雨では、島根県へ職員をJETT派遣して気象解説等を行いました。
令和6年能登半島地震では継続的にJETTを派遣しました。

### 「振り返り」の業務改善への活用

・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック

令和6年11月1日から2日にかけての前線と低気圧による大雨について県内市町村担当者と共同で振り返りを実施し、市町村の避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

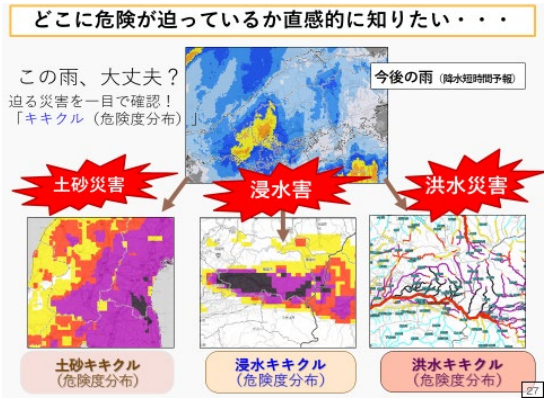
※あなたの町の予報官TV（あな町TV）：週末（原則、金曜日）または早期注意情報[中]以上のとき、16時ごろ。限定公開。

# 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等　松江地方気象台

## ■洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供

【 令和６年度の取組 】

〇大田市介護サービス事業者協議会からの依頼を受け、10月16日にケアマネージャーを対象に出前講座を実施。
〇2025年2月16日に益田市在住の外国人・外国人の支援者を対象に出前講座を実施。




【出前講座の内容（大田市）】
〇大雨と地震の２つのパートに分けて、発生する災害の概要・防災気象情報の入手方法・災害発生時にとるべき行動などについて説明。
〇依頼者から「今回の講演を通して、災害に対する危機意識を高めることができた」との声をいただいた。

【出前講座の内容（益田市）】
〇防災気象情報の入手方法について、気象庁ホームページを見ながら説明。
〇外国人を対象としているため、やさしい日本語を使って説明。

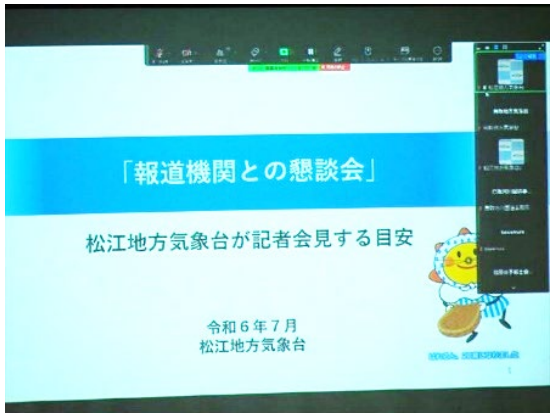
# 報道機関との連携

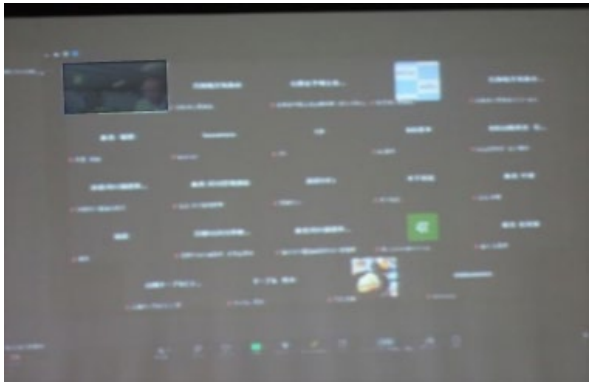


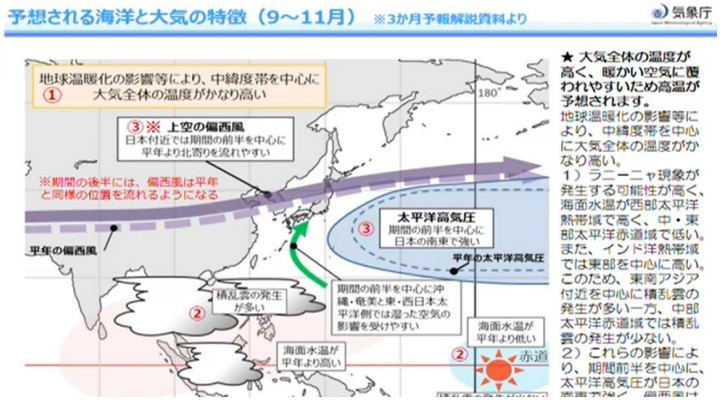
## ■報道機関との懇談会のweb開催と、防災知識の普及啓発番組作成

【 令和６年度からの取組 】

○Web会議ツールで「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
・報道機関に、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
○島根県CATV協議会と定期的（年４回）に番組制作を実施。






【開催実績と気象台からの話題提供等】
第８回 令和６年７月１６日「松江地方気象台が会見する目安」、「線状降水帯について」
第９回 令和７年２月１４日「地震関連情報について」、「新たな防災気象情報の体系運用について」

【季節ごとに３か月予報とを組み込み年４回制作し、ケーブルテレビ協議会各局で放送】
６月 ３か月予報、「梅雨と線状降水帯」
９月 ３か月予報、「台風」
１２月 ３か月予報、「大気の状態が不安定」
３月 ３か月予報、「桜」

# 島根県

# ■防災情報の周知徹底

R7継続

## ◆チラシ　島根県情報コーナーへの配架など

R7出水期前に掲載予定

## ◆防災に関する展示

R7継続

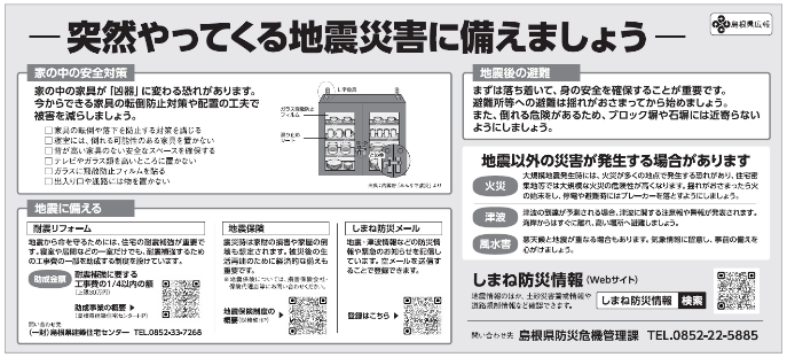
令和6年8月26日～9月3日
県庁1階ロビー

令和6年1月7日～2月5日
県立図書館1階ロビー

## ◆考える県政　掲載

出典：令和6年6月8日　山陰中央新報「考える県政」

出典：令和6年6月15日　山陰中央新報「考える県政」




出典：令和6年8月31日　山陰中央新報「考える県政」

# 地域防災力向上のための人材育成

## ■地域防災力向上のための人材育成

### 【令和６年度　避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

R7実施に向け調整中

１．日　時　令和６年１０月１６日（水）　松江商工会議所　大会議室　ほかテレビ会議
　　令和６年１０月１７日（木）　いわみーる　４０１研修室　ほかテレビ会議
２．受講者　市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等　　約４０名
３．内　容　講義「避難にむすびつく防災気象情報の利活用」「医療的ケア児の災害支援」「難病患者の災害支援」
　　県内市町村による事例紹介、意見交換会（グループワーク）
４．講　師　一般社団法人兵庫県社会福祉士会　西野事務局長　ほか

### 【令和６年度　島根県自主防災組織リーダー研修】

R7実施予定

１．日　時　令和６年10月５日（土）～６日（日）
２．場　所　島根県立男女共同参画センターあすてらす
３．対　象　自主防災組織構成員、自治会関係者、防災士など　　合計２４名
４．内　容　事例発表、洪水・土砂災害に関する講義、男女共同参画の視点で考える防災、
　　災害史に関する講義、まちあるき・災害図上訓練　ほか
５．講　師　静岡大学防災総合センター　牛山教授、山口大学大学院　瀧本准教授　ほか

### 【令和６年度　島根県防災士養成研修】

R7実施予定

１．日　時　＜第１回＞令和６年６月８日（土）～９日（日）
　　＜第２回＞令和６年１１月１６日（土）～１７日（日）
２．場　所　＜第１回＞島根県浜田合同庁舎　/ ＜第２回＞島根大学
３．受講者　＜第１回＞　５９名　/　＜第2回＞　６７名　合計１２６名
４．内　容　防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
５．講　師　松江地方気象台　久家次長　ほか

# 排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施



## ■内水氾濫を想定した排水ポンプ車による排水訓練の実施

○令和６年５月２９日及び６月６日などに計２回、排水訓練を実施
○市町村の要請に基づく出動に備え、迅速かつ確実な内水排除が行えるよう排水訓練を継続して実施

**＜令和７年度も継続して実施予定＞**

〈川本会場〉
日時：令和６年５月２９日
訓練場所：邑智郡川本町因原

〈江津会場〉
日時：令和６年６月６日
訓練場所：江津市桜江町川戸

# 小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実

島根県

## ■出前講座等で水害（防災）教育を行う

○出前講座の実施
令和６年５月１３日　島根中央高校
令和６年１２月２日　日貫小学校

〈島根中央高校〉
日時：令和６年５月２９日
参加者：２０人

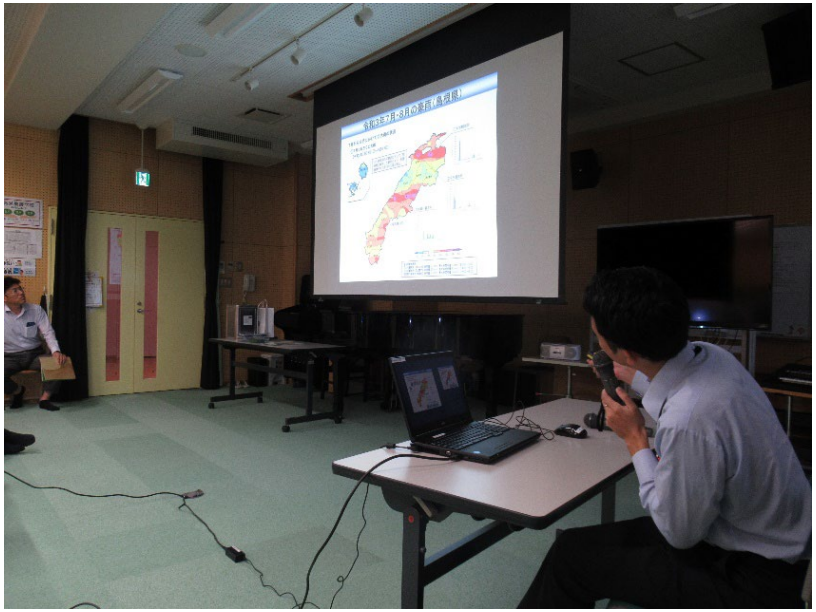
〈日貫小学校〉
日時：令和６年１２月２日
参加者：６人

# 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用したより実践的な防災教育の実施

島根県

## ■出前講座等で水害（防災）教育を行う

○出前講座の実施
　令和６年１０月２１日　石見養護学校職員



〈石見養護学校職員〉
日時：令和６年１０月２１日
参加者：３５人

# 江津市

# 防災教育や防災知識の普及

江津市

■住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

【 防災セミナー（男女共同参画講演会）の開催 】

○６月28日（金）江津市総合市民センターにて防災セミナー（男女共同参画講演会）を開催。約100人が参加。
○講師に相川康子先生を招いた。テーマは「災害に強いまちづくり～だれひとり取り残さないために～」。
○なぜ地域防災に男女共同参画の視点が必要か、過去の災害の教訓を踏まえた発想など説明いただいた。

## 講演会の様子

## 各種展示

## 案内チラシ

■参加者の感想
・当事者意識をしっかりもつこと、日頃からの人間関係づくりが大切だと感じた。
・地域住民の多様性に配慮した防災の考え方を持ちたい。学んだことを持ち帰って、地域で知恵を出し合い、災害時の男女共同参画について考えたい。

■開催に関することや当日の状況
江津市人権啓発センターと江津市総務課防災係の共同で開催。
当日は、自主防災組織、民生児童委員、男女共同参画推進員、婦人会など様々な方が参加。

■今後に向けて
引き続き防災に関するセミナー・講演会を企画・開催したい。

# 防災教育や防災知識の普及

江津市

■小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実

【 防災出前講座 】

〇講座の要望があった市内小中学校、地区で防災出前講座を実施した。日程は下記のとおり。
〇過去の水害事例、警戒レベル、自助・近助・共助・公助、市役所の防災担当の仕事などを説明。
〇浸水想定区域や避難場所の確認、備蓄倉庫の見学、避難所運営体験、防災食試食、防災バッグの中身を考えるなども実施。

## 防災出前講座

## 備蓄倉庫の見学、避難所運営体験、防災食試食

**■防災出前講座 実績**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5月19日 | 跡市地区 | 7月16日 | 津宮小学校 |
| 5月22日 | 江東中学校 | 8月25日 | 浅利地区 |
| 5月24日 | 桜江中学校 | 9月１日 | 和木地区 |
| 6月９日 | 敬川地区 | 9月22日 | 二宮地区 |
| 6月20日 | 江津地区 | 9月29日 | 川越地区 |
| 6月29日 | 渡津地区 | 10月15日 | 郷田小学校 |
| 7月14日 | 市山地区 | 10月20日 | 黒松地区 |

**■参加者の感想**

・江津市の過去の水害について知ることができた。
・自助・近助・共助の取り組みをすすめたい。
・今後、避難所が設置された場合に協力したい。

**■今後に向けて**

今後も防災マップなどを活用し、災害を自分事として考えてもらえるような講座を行いたい。

# 防災教育や防災知識の普及

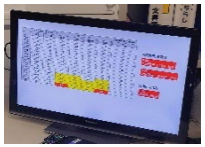
江津市

■住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

【 桜江地区（5地区）合同訓練の実施 】

〇令和2年度から始まった「小さな拠点推進事業」の最終年度の取り組みとして、江津市（総務課、桜江支所、災害対策地区班員）と桜江地域住民（小さな拠点推進事業 防災部会役員、自治会役員等）と合同で災害時における情報伝達訓練を行った。12月１日（日）桜江町にて実施。

情報伝達訓練の実施



合同振り返り、講師の講評

■開催までの経緯

9月17日・27日、10月16日　委託業者と打合せ
10月22日　地元説明会
11月13日　委託業者と打合せ
11月30日　合同訓練事前準備
12月1日　合同訓練開催

■役割分担

・古河電気工業株式会社：合同訓練企画・運営
・小さな拠点推進協議会：地元周知、連絡調整
・江津市：会場予約、開催周知、会場設営等

■参加者の意見

・情報伝達に課題があることが分かった。今後、その解決にむけて、地域で話し合いたい。
・いろいろな気付きがあり、今後につながる訓練になった。

■今後に向けて

訓練の結果や反省点を地区防災計画に反映することが重要。
地区と協力し、一緒に防災力向上を図りたい。

# 防災教育や防災知識の普及

江津市

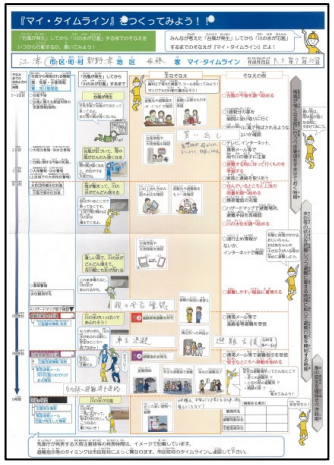
## ■住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進

**【 住民対象のマイ・タイムライン研修の実施 】**

○12月15日(日)川越地域コミュニティ交流センター・防災拠点施設にて、市民を対象としたマイ・タイムライン研修を実施した(小さな拠点推進協議会主催)。浜田河川国道事務所に講師を依頼。約40人が参加。
○「江津市防災マップ」を活用し、参加者それぞれの自宅の浸水深、土砂災害警戒区域等の確認を行った。
○「逃げキッド」を活用し、災害発生前から災害発生時におけるマイ・タイムラインを作成した。

マイ・タイムラインの説明

防災マップの確認、マイ・タイムラインの作成



**■開催までの経緯**

8月　企画、講師依頼、会場予約
10月　参加者募集
11月　準備
12月15日　マイ・タイムライン研修開催

**■役割分担**

・浜田河川国道事務所：資料作成、当日説明
・小さな拠点推進協議会：連絡調整
・江津市：会場予約、開催周知、会場設営等

**■参加者の意見**

・作成したマイ・タイムラインを、実際の災害時に活用することはもちろん、隣近所で話し合うことで、地域の取り組みとして広げていきたい。
・マイ・タイムラインの普及により、江津市での「災害時の逃げ遅れゼロ」につなげていきたい。

**■今後に向けて**

今回は桜江地区での開催だったので、次年度以降、江津地区で開催したい。

# 川本町

# 防災教育と防災意識の向上に向けて



## ■江の川の洪水の歴史と災害への備え

**【 中学校での防災授業 】**

○町立川本中学校の全校生徒を対象に、防災授業を実施。
○『災害訓練を通じて、防災意識を高め、郷土に愛着を持ち、護り、発展させていこうとする意識を育てる』ことを目的として、３月に授業を実施。
○町が作成した防災マップによる災害の学びに加え、段ボールベッドの組み立てなど、避難所で中学生でもできることを行えるよう、実践体験を実施。
○６月には、松江から日赤の方を講師に、避難所で役立つことについて学んだ。
○家族への防災授業の報告による、保護者の防災意識の向上。

**【民間事業所と連携した防災セミナー 】**

○山陰中央新報社とタイアップし、防災セミナーを実施。
○自主防災組織や広く住民に周知。
○石西防災研究所　伊藤理事長を講師に、『あなたの命を守る３つのやり方』と題した講演会を実施。
○併せて、川本町の取り組みについて説明を実施。

グループごとに避難グッズの作成や応急手当体験の様子

地震を想定した避難方法の確認

# 美郷町

# 防災教育や防災知識の普及

美郷町

■住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

○美郷町は平成24年から防災士育成に係る事業をはじめ、現在各連合自治会（13）に１名以上の配置を完了している。
以前から要望のあった防災士を対象とした講演会や意見交換の場を、初めて開催した。

【 防災士を対象とした講演会 】

【 地域住民等を対象とした学習会 】

■住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進

【 地区防災計画の作成に合わせて実施 】

○地区防災計画の未作成地区を対象に、防災に関するワークショップを年３回開催し、その中でマイ・タイムライン等について、身近なこととして考えてもらうきっかけとなる場を設けた。
○今後も、計画未作成地区を対象にワークショップ等を開催する。

# 邑南町

# 防災教育や防災知識の普及

邑南町

■小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実
■住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

【 出前講座 】

○邑南町内小中学校や自治会で防災に関する講座(防災学習)を実施した。
○邑南町内の過去の水害や土砂災害について説明し、災害(水害)は身近な場所で起こり他人事ではないこと等、意識啓発を行った。
○ハザードマップを使用して、学校や地域が浸水想定区域になっているのか等を確認した。
○法面対策工などの機能や、災害に対する行政の取組について説明した。

過去の災害についての確認

行政の取組についての確認

**【出前講座実績】**

8月22日 お話会よむよむ
9月　2日 社会福祉法人おおなん福祉会
9月26日 瑞穂小学校
9月27日 東自治会婦人部
9月27日 瑞穂西事業所
10月19日 阿須那地区支え合い会議
11月23日 日和中央自治会
12月　4日 日貫小学校
1月31日 高原小学校

**【参加者の感想】**

・家庭でできる災害対策の確認を親子でしてもらうようにしていきたい。
・非常用持ちだし品等、日頃の備えをしていく。
・安全な避難ルートを決めておく。
・近所の高齢者世帯の避難協力の対策を考える。
・避難情報を入手したら、素早い行動ができるようにしておく。

## （１）令和７年度の取組予定について

# 令和７年度の主な取組支援

○浜田河川国道事務所では、江の川（下流）流域における「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目的として、令和７年度は主に以下の取組を実施・支援する。
○その他にも、取組方針に基づく防災・減災対策を随時実施する予定である。

| | 令和７年度の主な取組支援 |
|---|---|
| 1 | 民間企業における事業継続計画検討支援 |
| 2 | 小学校等を対象とした防災教育の普及 |
| 3 | 住民を対象としたマイ・タイムラインの普及促進 |
| 4 | 樋門無動力化の推進 |

# 民間企業における事業継続計画検討支援

浜田河川国道事務所

| 項目 | 江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和７年当初計画 | 江の川（下流）流域の商工会や企業を対象とした講習会等の実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

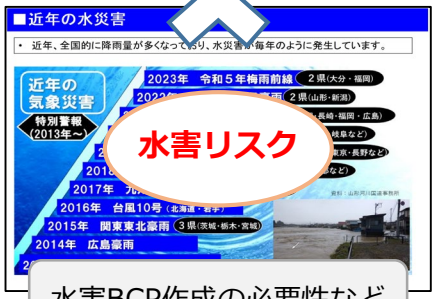
【実施概要】

## 今年度の実施予定（案）

### ①募集

**BCP作成希望の企業**をご存知の自治体があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

### ②概要説明




水害BCP作成の必要性など

### ③ワークショップ

企業の**守りたいもの**と**その対応策**

↓

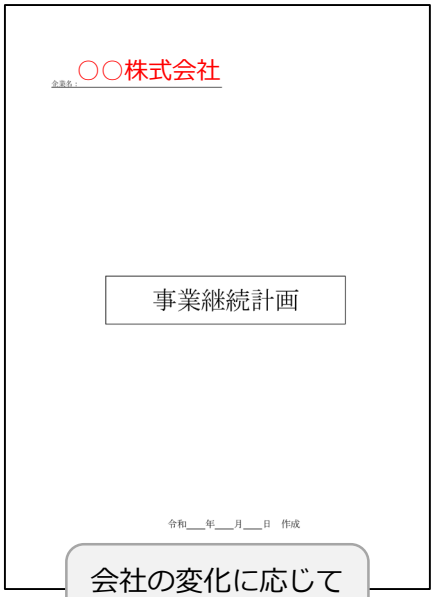
**行動のタイミング**・**守るものの重要度**

↓

**班体制と役割分担**（タイムラインシート）

被害最小化・早期事業再開に必要な行動を議論

### ④完成




会社の変化に応じて随時修正

# 小学校等を対象とした防災教育の普及

浜田河川国道事務所

| 項目 | 小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和７年当初計画 | 江の川（下流）流域の小中学校を対象に防災教育を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

## これまでの取り組み

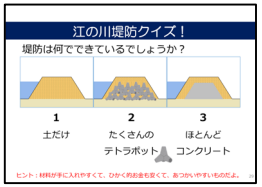
＜江の川水系（下流）での防災教育の実施状況＞

| 実施年度 | 防災教育の実施校 |
|---|---|
| 平成30年度 | ・渡津小学校、川本小学校 |
| 令和元年度 | ・川本小学校 |
| 令和2年度～令和4年度 | ・郷田小学校 |
| 令和5年度 | ・川本小学校 |
| 令和6年度 | ・郷田小学校<br>・口羽小学校、桜江中学校、川本中学校、邑智中学校、大和中学校<br>（マイ・タイムライン等の概要説明のみ） |

＜江津市立郷田小学校での事例＞

令和6年9月に江津市立郷田小学校で防災に関する出前講座を行いました。出前講座では、「過去の水害」「堤防の役割」「避難時の注意点」「避難準備・避難行動」などについて説明しました。

授業の様子




防災クイズ

## 今年度の実施予定（案）

○要望のある小学校等において防災出前講座を実施予定です。
○講座内容の充実化のために、島根県・流域市町と協力して取り組みを進めていきます。

現時点で、**小中学校から防災教育の実施に関する要望**のある自治体があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

# 住民を対象としたマイ・タイムラインの普及促進

浜田河川国道事務所

| 項目 | 住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和７年当初計画 | 江の川（下流）流域の自治体等を対象にマイ・タイムライン講習会を実施 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

## 『マイ・タイムライン作成支援ツール』

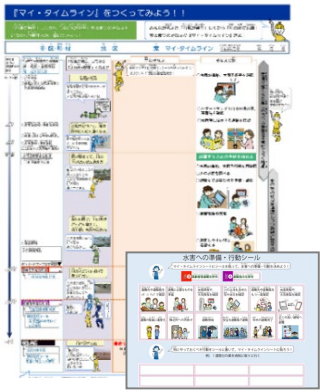
自治会長や自主防災リーダー等が主体となって地域のマイ・タイムライン作成を推進するための支援ツールを作成している。

＜広報・解説動画＞

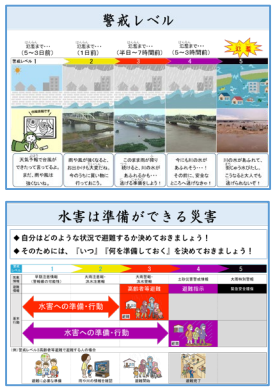
＜逃げキッド＞

＜作成ヒント集＞

＜マイ・タイムラインシート＞




＜講習会資料＞




＜講師用手引き＞

## 今年度の実施予定（案）

**【目的】**江の川水系（下流）における「逃げ遅れゼロ」を実現するため、島根県・流域市町と連携してマイ・タイムライン講習会を開催する。また、自治会長や自主防災リーダー等が主体となって、地域のマイ・タイムラインを作成する取り組みを推進する。

スケジュール

マイ・タイムライン講習会の実施（1地区以上を予定）

・ＳＮＳを活用した広報の実施
・防災に関心のある自治会や防災士会等における**マイ・タイムライン講習会の実施要望**があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

↓

講習会参加者を対象とした防災意識アンケート調査の実施

↓

マイ・タイムラインの作成促進に向けた課題等の把握

↓

『マイ・タイムライン作成支援ツール』の更新
- 広報、解説動画
- 逃げキッド、作成ヒント集、マイ・タイムラインシート
- 講習会資料
- 講師用手引き

↓

江の川（下流）流域におけるマイ・タイムライン作成促進

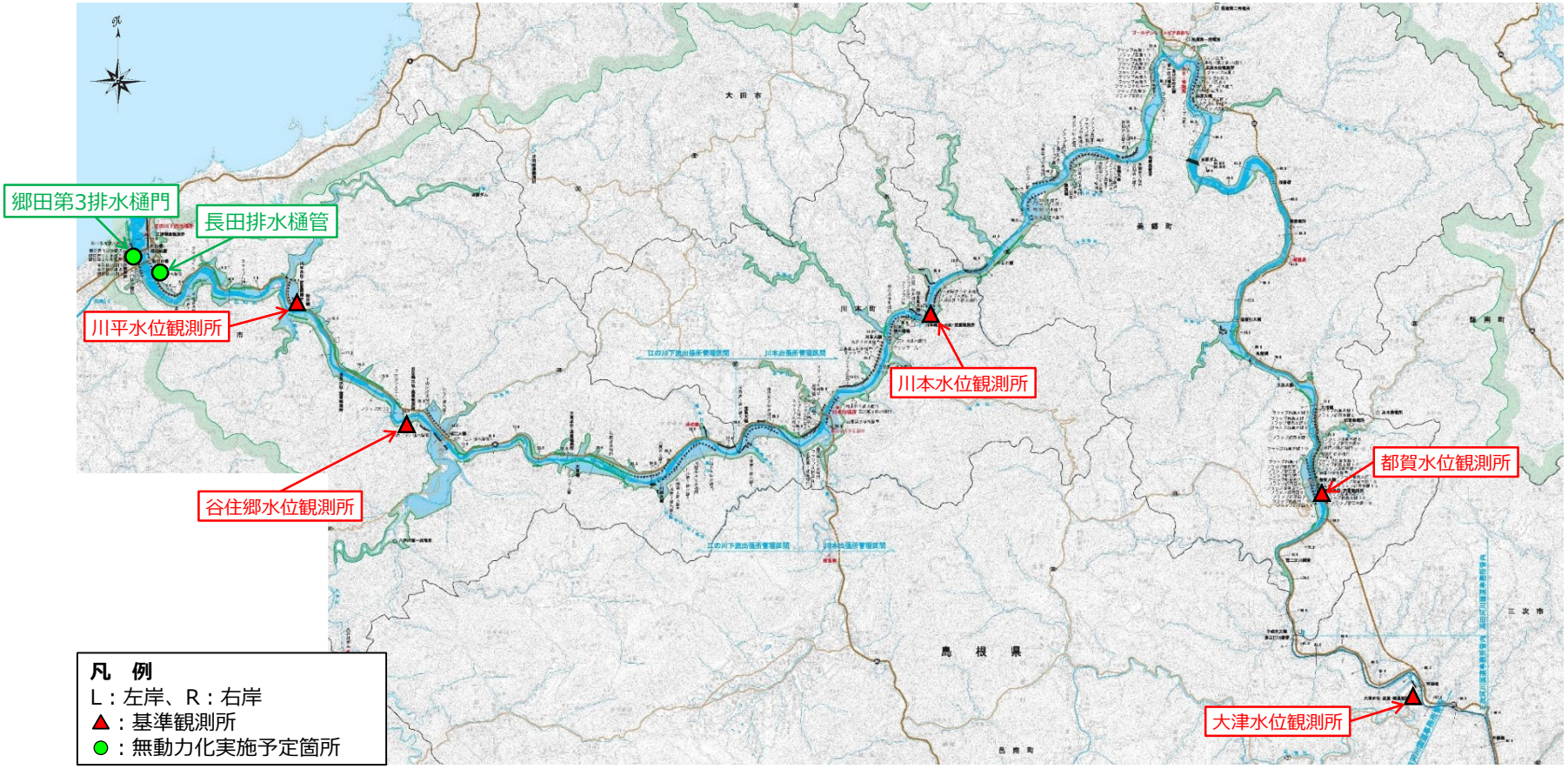
# 樋門無動力化の推進



| 項目 | 樋門の無動力化の推進 | |
|---|---|---|
| 内容 | 令和７年当初計画 | 樋門無動力化を実施予定 |
| 取組機関 | 国土交通省浜田河川国道事務所 | |

【実施概要】

○江の川水系（下流）では、直轄２樋門の無動力化を実施予定です。




樋門無動力化の実施 平面図

# 松江地方気象台

# 防災教育や防災知識の普及

松江地方気象台

## ■地域防災支援の取組

【 令和７年度の取組 】

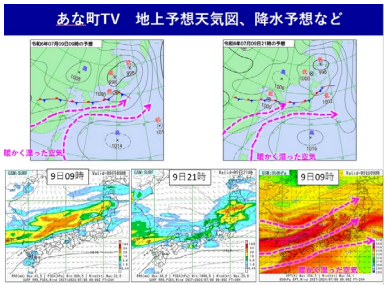
**平時**
- 市町村等との「顔の見える関係」構築・深化
- 災害リスクや情報利活用の研修・演習
- 防災計画や避難情報の判断・伝達マニュアル等への助言
- 関係機関等との連携した取組

**緊急時**
- 記者会見による呼びかけ
- ホットラインによる首長への助言
- ＪＥＴＴ（気象庁防災対応支援チーム）の派遣

**災害後**
- 自治体等と共同で「振り返り」を実施

## 地域防災支援業務の強化

### YouTubeを用いた気象解説




警報級の大雨・大雪等になるおそれがある場合に、防災担当者を対象にYouTubeで気象解説を行っています（あなたの町の予報官TV）。いつ、どこで、どれほどの現象となる見込みなのかをなるべく詳細に説明します。

### 気象防災ワークショップの推進

【 Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、風水害編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和7年度も継続して実施していきます。

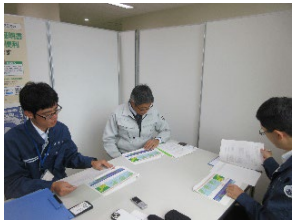
### 積極的なＪＥＴＴ派遣

【島根県災害対策本部会議へ派遣】

- 令和6年7月9日からの大雨では、島根県へ職員をJETT派遣して気象解説等を行いました。
- 令和6年能登半島地震では、継続的に職員を派遣しました。

### 「振り返り」の業務改善への活用

- 災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



令和6年11月1日から2日にかけての前線と低気圧による大雨について県内市町村担当者と共同で振り返りを実施し、市町村の避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あなたの町の予報官TV（あな町TV）：週末（原則、金曜日） または早期注意情報「中」以上のとき、16時ごろ。限定公開。

## ■報道機関との連携

・Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・河川国道事務所と共同開催
・水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
・令和８年出水期から新たな防災気象情報の運用に向けて理解を深める取り組みを行い、住民への普及・啓発につなげる
・Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現

・雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催

# 島根県

## ■防災情報の周知徹底

R7継続

### ◆チラシ　島根県情報コーナーへの配架など

R7出水期前に掲載予定

### ◆防災に関する展示

R7継続

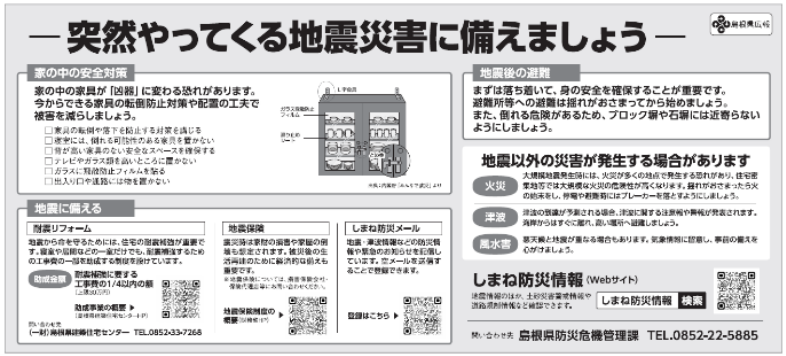
令和6年8月26日～9月3日
県庁1階ロビー

令和6年1月7日～2月5日
県立図書館1階ロビー

### ◆考える県政　掲載

出典：令和6年6月8日　山陰中央新報「考える県政」

出典：令和6年6月15日　山陰中央新報「考える県政」




出典：令和6年8月31日　山陰中央新報「考える県政」

## ■地域防災力向上のための人材育成

### 【令和６年度　避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

R7実施に向け調整中

１．日　時　令和６年１０月１６日（水）　松江商工会議所　大会議室　ほかテレビ会議
　　令和６年１０月１７日（木）　いわみーる　４０１研修室　ほかテレビ会議
２．受講者　市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等　　約４０名
３．内　容　講義「避難にむすびつく防災気象情報の利活用」「医療的ケア児の災害支援」「難病患者の災害支援」
　　県内市町村による事例紹介、意見交換会（グループワーク）
４．講　師　一般社団法人兵庫県社会福祉士会　西野事務局長　ほか

### 【令和６年度　島根県自主防災組織リーダー研修】

R7実施予定

１．日　時　令和６年10月５日（土）～６日（日）
２．場　所　島根県立男女共同参画センターあすてらす
３．対　象　自主防災組織構成員、自治会関係者、防災士など　　合計２４名
４．内　容　事例発表、洪水・土砂災害に関する講義、男女共同参画の視点で考える防災、
　　災害史に関する講義、まちあるき・災害図上訓練　ほか
５．講　師　静岡大学防災総合センター　牛山教授、山口大学大学院　瀧本准教授　ほか

### 【令和６年度　島根県防災士養成研修】

R7実施予定

１．日　時　＜第１回＞令和６年６月８日（土）～９日（日）
　　＜第２回＞令和６年１１月１６日（土）～１７日（日）
２．場　所　＜第１回＞島根県浜田合同庁舎　/ ＜第２回＞島根大学
３．受講者　＜第１回＞　５９名　/　＜第2回＞　６７名　合計１２６名
４．内　容　防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
５．講　師　松江地方気象台　久家次長　ほか

# 小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実

島根県

## ■出前講座等で水害（防災）教育を行う

○出前講座の実施
令和６年５月１３日　島根中央高校
令和６年１２月２日　日貫小学校

〈島根中央高校〉
日時：令和６年５月２９日
参加者：２０人

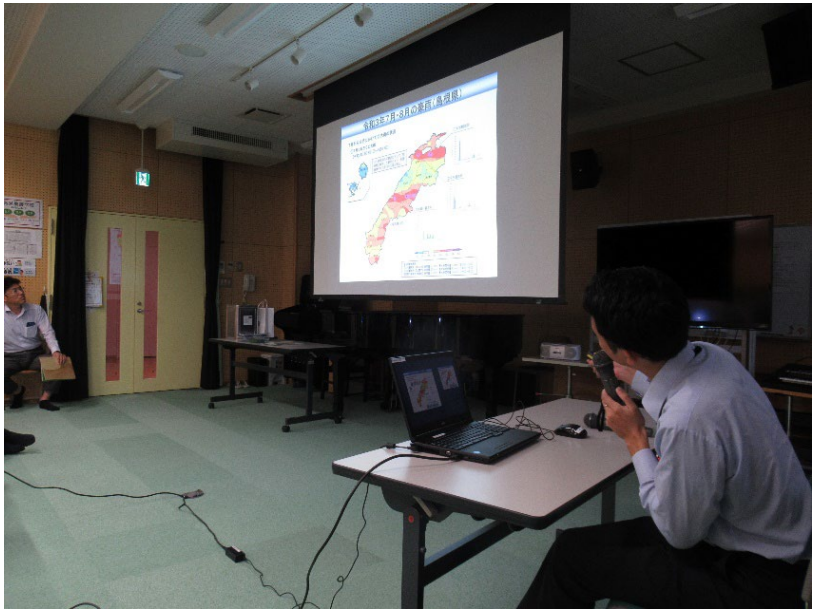
〈日貫小学校〉
日時：令和６年１２月２日
参加者：６人

# 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用したより実践的な防災教育の実施

島根県

## ■出前講座等で水害（防災）教育を行う

○出前講座の実施
　令和６年１０月２１日　石見養護学校職員



〈石見養護学校職員〉
日時：令和６年１０月２１日
参加者：３５人

# 排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施

島根県

## ■内水氾濫を想定した排水ポンプ車による排水訓練の実施

〇令和６年５月２９日及び６月６日に排水訓練を実施
〇市町村の要請に基づく出動に備え、迅速かつ確実な内水排除が行えるよう排水訓練を継続して実施

〈川本会場〉
日時：令和６年５月２９日
訓練場所：邑智郡川本町因原

〈江津会場〉
日時：令和６年６月６日
訓練場所：江津市桜江町川戸

# 川本町

# 防災意識の向上とマイタイムライン



## ■防災に対する意識の向上を目的とした取り組み

**【地域に出向いた説明会 】**

○自主防災組織や各種団体を対象とした、防災の話をしてもらう機会の提供。
　対象：自主防災組織、老人クラブ、婦人会　など
　内容：備蓄用品の作成体験、備蓄品の試食
　　防災に関する説明や、避難についてのワークショップ
　　★特に高齢者に対して、マイタイムラインの作成を推進

○避難訓練の実施
　対象：希望される自主防災組織など
　内容：防災無線を使用した訓練を行い、自主防災組織で避難方法や避難所での受け入れの確認

**【防災士の育成と避難訓練】**

○自主防災組織等のリーダーとして、防災士の資格取得支援。
　・受講料等の費用を補助し、町や地域のために活躍してもらえる防災士の育成を図る。
　・防災士には、地域リーダーとして活躍いただく

○自主防災組織のリーダーを対象とした、避難祖運営訓練の実施
　・自主防災組織へ呼びかけ、避難所での運営に特化した説明会を実施し、いざと言う時のための準備を促すことを目的として実施
　★名簿の作成の意義や、受付の際の注意点の確認
　　避難所での、リーダーの役割

○段ボールベットの組み立て体験など

# 美郷町

# 防災教育や防災知識の普及

美郷町

## ■住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進

**【地区防災計画の作成に合わせて実施】**

○地区防災計画の未作成地区を対象にした、防災に関するワークショップを開催し、その中で参加者にマイ・タイムラインを作成してもらい、災害を身近なこととして考えてもらうきっかけを設ける。
○今後も、計画未作成地区を対象にワークショップ等を開催する。（令和４年度から継続して実施）

# 邑南町

# 防災教育や防災知識の普及



■小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実
■住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進

【防災に関する研修会】

○邑南町防災士連絡協議会研修会の開催
　対象：町内防災士・自主防災組織（自治会）
　内容：避難所運営について
　　避難所のパーテーション、テント、簡易ベット等の設置について

【出前講座】

○出前講座の開催（随時）
　対象：町内小中学校・団体 等
　内容：過去の災害や、町の防災に対する取組など防災全般
　　マイ・タイムラインの作成 等

## （２）今後のスケジュールについて

# 江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会　今後のスケジュール

**令和７年６月１３日（金）**
**令和７年度　第１回　幹事会**

令和６年度の取組状況の報告及びフォローアップ、
令和７年度の取組予定、情報提供、今後の予定 等

※県央圏域水害・土砂災害に関する減災対策協議会幹事会、浜田圏域水害・土砂災害に関する減災対策協議会担当者会と合同開催

**令和７年６月１７日（火）**
**令和７年度　第１回　協議会**

令和６年度の取組状況の報告及びフォローアップ、
令和７年度の取組予定、情報提供、今後の予定 等

**令和８年２月中旬**
**令和７年度　第２回　幹事会**

令和７年度の取組状況、第３期 取組方針（案）の意見照会、
情報提供、今後の予定 等

**令和８年２月下旬**
**令和７年度　第２回　協議会**

令和７年度の取組状況、第３期 取組方針（案）の意見照会、
今後の予定 等

# （３）情報提供

# 【情報提供】 樋門ゲート操作自動化説明会を開催　～地域防災のDX推進に向けて～

- 出水時の樋門操作は昼夜問わず対応が必要であり、洪水によっては対応が長期化するが、昨今は過疎化等の影響もあり、操作員の高齢化や担い手不足といった、地域防災安全についての課題を抱えている。
- 浜田河川国道事務所では、上記の課題解決に向けて、内外水位検知によるゲート操作自動化の実証実験を開始。
- 本取組にあたって出水期を前に操作員、地元消防団、美郷町長ほか約30名の参加で説明会を開催した。

**【現状と将来目標】**

●高齢化
●担い手不足

課題

将来的な
樋門操作員の確保

地域防災安全の
持続可能性

機械制御による
ゲート操作自動化
（遠隔監視体制）

樋門操作員の
負担軽減

令和７年度～

AIを活用した
ゲート操作の自動化

樋門操作の省人化
担い手不足解消
持続可能な地域防災安全

**Digital X-formation**

**【操作説明会】**

樋門ゲート操作自動化にあたって、樋門操作員へ説明会を実施。

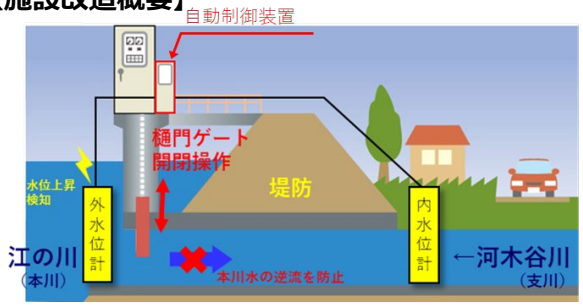
日　時 ： 令和7年6月5日 17:30～
会　場 ： 河木谷排水樋門
参加者 ： 樋門操作員
嘉戸美郷町長ほか町職員
美郷町 消防団幹部
島根県
浜田河川国道事務所

◆嘉戸美郷町長コメント
樋門操作員の負荷が軽減され、また住民の安全向上のための第１歩だと認識している。
関係者で前を向いて進めていきたい。

◆樋門操作員コメント
平日には有給休暇を取得して対応していたり、翌日仕事でも夜間の対応をしたり負担が大きい部分があるので、改善に向かっていくことは前向きに受け止めている。
ただし、いきなり機械でできます！と言われても、適切な操作ができるか不安が残るため、カメラ設置された後もしばらくは出動しようと思う。

今後も長期対応時の負担軽減などをねらって、樋門操作員へのバックアップを実施していく

**【施設改造概要】**




**POINT**
既存設備に自動制御装置を追加設置し、内外水位計の水位情報から自動で樋門ゲートを開閉操作する。

**河木谷排水樋門**
**（島根県邑智郡美郷町乙原地先）**

江の川水系江の川左岸42k200付近

<樋門諸元>
ラック式鋼製ローラーゲート
H4.1m × B3.2m × 2門